0811874HL5901

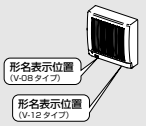
MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン(居室用)

お客さま用

センサー機能	形　名	機　　能
湿度センサー付	V-08PHSD6	停止タイプ（電気式シャッター付）
	V-12PHSD6	
	V-08PHLD6	常時弱運転タイプ
	V-12PHLD6	
温度センサー付	V-12PTSD6	停止タイプ（電気式シャッター付）
	V-12PTLD6	常時弱運転タイプ
雑ガスセンサー付	V-08PNSD6	停止タイプ（電気式シャッター付）
	V-12PNSD6	
	V-12PNLD6	常時弱運転タイプ

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。



取扱説明書

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

この商品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇（電気器具その他）のスイッチの入・切をしない （爆発や引火の原因になります） ●雑ガスセンサー付は、計量法に基づく計測器ではありませんので、酸欠防止や可燃性ガスなどの検知装置として使用しない （室内が酸欠状態になったり、火災の原因になります）
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない （ショートや感電の原因になります）
分解禁止	●改造や分解はしない （火災・感電・けがの原因になります） 修理はお買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください
指示に従い必ず行う	●交流 100V を使用する （直流や交流 200V を使用すると感電の原因になります） ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る （感電やけがの原因になります） ●製品についた水（結露水や雨水）を拭き取る際は分電盤のブレーカーを切る （感電の原因になります）

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない （本体・部品の落下によるけがの原因になります） ●高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない （火災の原因になります）
接触禁止	●運転中は羽根の中に指や物を入れない （けがの原因になります）
指示に従い必ず行う	●お手入れの際は手袋を着用する （着用しないとけがの原因になります） ●部品の取付けは確実に行う （落下によるけがの原因になります） ●長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る （絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）

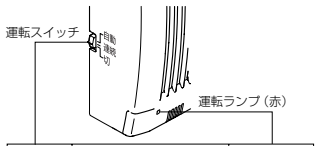
ご使用にあたってのお願い

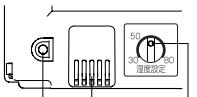
- **換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。**
- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください（中性洗剤をご使用ください）。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因）
- **長期間使用しない場合などは、分電盤のブレーカーを切ってください。**
  この換気扇は自動運転タイプですので、分電盤のブレーカーを入れたままですと本体スイッチが切の状態でも約 0.5W の電力を消費します。

使用方法

この換気扇は「センサー付」です。
センサーが検知部の周囲状況を検知して、停止タイプでは自動的に運転（シャッター「開」）と停止（シャッター「閉」）を、常時弱運転タイプでは強運転と弱運転を切り替えます。
運転開始や停止のポイント、運転の強・弱切り替えのタイミングを変更するときは感度調節ツマミで設定を変更します。
運転スイッチは「自動」（壁スイッチがある場合、壁スイッチは通常「入」）にしてください。

操作部名称と機能





※感度調節ツマミで設定を変更する場合はグリルをはずしてください。（グリルのはずしかたは お手入れ を参照ください）
※調節後は必ずグリルを取付けてください。

運転ランプ（赤）	検知部	感度調節ツマミ
換気を行っていることを表示	センサーが内部にあります	設定を変更（下表による）

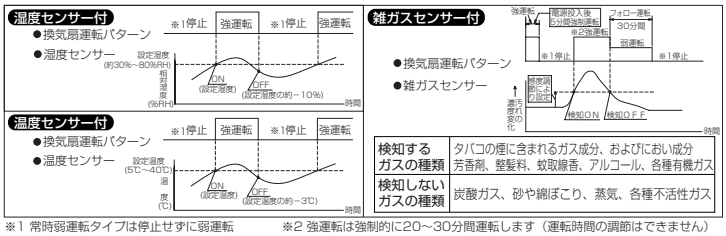
運転スイッチ	運　転　状　態	運転ランプ
切	運転停止	消灯
連続	周囲状況に関係なく連続強運転	点灯
自動	検知部が設定値より高くなったとき…強運転	点灯
	検知部が設定値より低くなったとき…停止（停止タイプ）または弱運転（常時弱運転タイプ）	停止タイプ 消灯 常時弱運転タイプ 点灯

（図は湿度センサー付のグリルをはずした状態を示します。）

センサー	感度調節範囲	感度調節ツマミ部
湿度センサー	30%RH(低)～80%RH(高)	50 / 30 / 90 / 湿度設定
温度センサー	5℃～40℃	20 / 5 / 40 / 温度設定
雑ガスセンサー	「高」…検知しやすくする 「低」…検知しにくくする	標準 / 低 / 高 / 感度設定

※**湿度センサー付、温度センサー付（停止タイプ）の自動運転時の停止（微弱運転）状態について**
検知部の周囲を部屋の状況に近づけるためにシャッターが閉じた状態でも低速運転し、約 2.0W の電力を消費します。（シャッターが閉じているため換気しません）
※**雑ガスセンサーの強制運転について**
運転スイッチを「切」→「自動」もしくは、電源を投入後は約 5 分間強制運転を行います。（運転ランプは**点滅**）

■動作シーケンス



※1 常時弱運転タイプは停止せずに弱運転　　※2 強運転は強制的に20～30分間運転します（運転時間の調節はできません）

お願い

- 自動運転は室内に障害物がなく、室内無風の条件で正常に動作するように設定されています。
  以下の場合にはお客さまのご希望どおりに動作しない場合があります。

共通事項
・他の換気扇を回したとき　・扇風機や冷暖房機など強い風を直接製品に当てたとき　・風の強い日

雑ガスセンサー付のみ
・室内の空気の流れによりセンサー部に汚れた空気がとどきにくいとき　・煙の少ないタバコの場合　・タバコを吸う位置が異なる場合
・外気が汚れているとき　・室内に検知するガスが発生しつづけるとき（新築時のにおい、整髪料、芳香剤、線香など）
※通常の状態に戻ればセンサーは適確な動作をします。

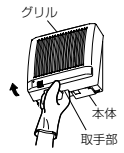
- 感度調節ツマミをお望みの設定に合わせてから検知部が安定するまで多少時間がかかります。使用する場所に応じて調節してください。
- 設定によっては羽根が突然回ることがありますので注意してください。
- 温度センサー付の場合、雨天の日など室内湿度が設定より高い場合は、連続運転と同じ状態になることがありますが故障ではありません。
- 雑ガスセンサー付の場合、きれいな空気状態を記憶するため室内の空気をきれいにしてから運転スイッチを「自動」にしてください。
- 雑ガスセンサー付の場合、室温が急激に上昇すると室内空気が汚れなくても運転を開始する場合があります。室温が安定すれば通常の動作に戻ります。
- 温度センサー付の場合、室内外の温度差が 10℃以上あると、周囲温度を正確に検知できない場合があります。

お手入れ

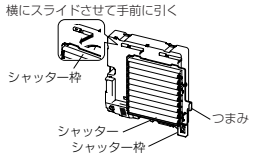
グリル、シャッター、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。
約４か月に１度を目安に清掃してください。
- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（「愛情点検」を参照ください）をお願いします。

1.清掃部品を取りはずす

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。



- シャッター枠のつまみを持ち、横にスライドさせて手前に取りはずす。（電気式シャッター付のみ）



2.清掃する

1. グリル、シャッター枠は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

お願い
- **洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。**
- **お手入れの際、シャッターはシャッター枠からはずさないでください。また、羽根に衝撃を与えたり、シャッターの中央部やモーターの軸に無理な力をかけないでください。**
（シャッター開閉不良や異常音発生の原因になります）

3.お手入れ後の取付け

1. 各部品の取付けは取りはずしと逆の順序で行う。
   - シャッター枠は最後まで差し込んでください。（電気式シャッター付のみ）
2. 取付け後、次の確認をする。
   （1）シャッター枠・グリルが確実に取付けられていますか。
   （2）異常な音が出ていませんか。（必ず運転をして確認してください）

故障かな？と思ったら

- 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原　　因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
	換気扇の運転スイッチが「切」になっていませんか	「自動」または「連続」にします
	設定値が高くないですか	感度調節ツマミで設定値を調整します
	タイマー付スイッチと組み合わせて使用していませんか	タイマー設定を無効にします
羽根が停止しない	換気扇の運転スイッチが「連続」になっていませんか	「自動」にします
	設定値が低くないですか	感度調節ツマミで設定値を調整します
	常時弱運転タイプは、羽根が停止しません	正常です
	雑ガスセンサー付の５分間強制運転中は停止しません	正常です
羽根が逆転する 回転が遅い、または不規則 シャッターがばたつく	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
シャッターは閉じるが羽根が停止しない	湿度センサー付、温度センサー付の停止タイプは検知部の周囲を部屋の状況に近づけるため、シャッターが閉じた状態でも微弱運転します	正常です
シャッターが閉じない	シャッターにほこり、異物が付着していませんか	清掃します
	シャッターがシャッター枠やシャッターに引っ掛かっていませんか	引っ掛かりを取り除きます
	電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマー等）と組み合わせて使用していませんか	販売店または工事店へ連絡します
シャッターが開かない	シャッターにほこり・異物が付着していませんか	清掃します
	シャッターに水が付着していませんか	水を拭き取ります
	シャッターが確実に取付けられていますか	取付け直します
運転中に異常音や振動がする	本体・グリル・シャッターが確実に取付けられていますか	取付け直します
	羽根・グリル・シャッターにほこり・異物が付着していませんか	清掃します
運転ランプが点滅する （雑ガスセンサー付）	５分間強制運転中はゆっくり点滅します	正常です
	はやく点滅する	販売店または工事店へ連絡します

アフターサービス

三菱パイプ用ファンのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

- 補修用性能部品の保有期間
  当社はこのパイプ用ファンの補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形　名	電源 (V)	ノッチ	消費電力 (W) 50Hz	消費電力 (W) 60Hz	風　量 (m³/h) 50Hz	風　量 (m³/h) 60Hz	騒　音 (dB) 50Hz	騒　音 (dB) 60Hz	質量 (kg)
V-08PHSD6	100	－	5.0	5.6	75	85	25	27	0.70
V-08PHLD6	100	強	2.4	2.9	75	85	23	25.5	0.62
		弱	1.7	1.8	43	44	16	16	
V-08PNSD6	100	－	6.1	6.7	80	95	27	30.5	0.70
V-12PHSD6	100	－	6.5	7.2	135	145	31	33	1.09
V-12PHLD6	100	強	3.7	4.4	135	145	29	31	0.91
		弱	2.8	3.2	105	105	23	23	
V-12PTSD6	100	－	7.1	7.7	135	145	31	33	1.09
V-12PTLD6	100	強	4.3	4.9	135	145	29	31	0.91
		弱	3.4	3.7	105	105	23	23	
V-12PNSD6	100	－	6.9	7.5	135	145	31	33	1.09
V-12PNLD6	100	強	4.1	4.7	135	145	29	31	0.91
		弱	3.2	3.5	105	105	23	23	

※特性は JIS C 9603に基づく

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。
- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- ●こげ臭いにおいがする。
- ●本体取付部に腐食、破損等がある。

▶ **使用中止** 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　　名	
お買上げ年月日	年　　月　　日
お買上げ店名（住　所）（電話番号）	（　　）

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用）